

「京都ルート」実現に関する

要 望 書

平成20年6月

京都府中央リニアエクスプレス推進協議会

平素は、「中央リニア新幹線」の整備推進に格別の御配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

当協議会におきましては、国土の均衡ある発展に向けて、多軸型の国土を形成するため、首都圏、中部圏、近畿圏を結び、更には中国地方に連絡するとともに、東海道新幹線の代替輸送機関ともなる新しい国土軸として、「中央リニア新幹線」が早期に実現されるよう、その積極的な促進に努めているところであります。

関係各位におかれましては、平成21年度政府予算の編成等に際しまして、「中央リニア新幹線」の意義を十分にお汲み取りの上、次の要望事項につきまして、格別の御高配を賜りますよう、お願いいたします。

平成20年6月

京都府中央リニアエクスプレス推進協議会

代 表

京 都 府 知 事

京 都 市 長

京都府商工会議所連合会会長

山田

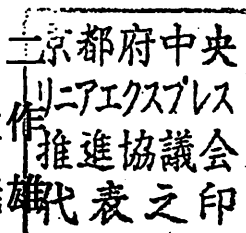
門川

立石

啓

大

義



1 国家プロジェクトとしての整備推進

「中央リニア新幹線」を、国家プロジェクトとして整備され、早期に実現されるよう、要望します。

2 「京都」ルートの実現

ルート決定にあたっては、

- 「京都」が国際的に果たす役割の重要性
- 東海道・山陽新幹線の輸送実績
- 開業後の採算性

を踏まえ、

《「京都」を通るルート》

で具体化されるよう、要望します。

3 技術開発の推進

リニアモーターカーの早期実用化に向け、その技術開発を推進されるよう、要望します。

